

第 3 7 回 個別医療における認定再生委員会等委員会議事録

開催日時：令和 3 年 1 月 2 7 日（水）1 6：0 0～1 6：3 5

場所：医療法人社団博心厚生会東京キャンサークリニック 9 階

及び各自所在地を Web で結んでの Zoom 会議

参加者：【委員】 笹田亜麻子 （区分 a-1、（利害関係あり））
長谷川記子 （区分 a-2）
石井麦生 （区分 b）
小玉大介 （区分 c）
蓮沼友子 （区分 c）

計 5 名

【オブザーバー】 阿部博幸 （委員会発起人）
阿部みな子 （区分 a-1、進行役として参加（利害関係あり））
山田江津子 （事務局）
吉田真美 （行政書士）

計 4 名

議事録作成者：吉田真美

定刻になり、委員・オブザーバー全員と回線がつながっていることを確認し、委員会成立要件（1. 5 名以上の出席 2. 男女各 1 名以上の出席 3. ①再生医療等について、十分な科学的知見及び医療上の知識を有する者を含む医学又は医療の専門家②法律の専門家③一般の立場の者の全ての領域が出席 4. 委員のうち審査対象医療機関と利害関係を有さない委員が過半数である、5. 認定委員設置者と利害関係の無い委員 2 名以上の出席）が満たされていることを確認した上で、委員会発起人である阿部博幸より簡単な挨拶と開会が宣された。

第一号議案に入る前に、阿部みな子より、1 月 10 日に行われた厚生労働省主催の【第 4 回認定再生医療等委員会研修会】に関する報告と、今後の審議に向けての方向性等について提案があった。概要については特段議論するものではなく、参加者に異論も無かった。また、当該研修会に関するレポート等は、後日委員に共有される旨も報告された。

第一号議案 定期報告に関する審査

議長から 1. 健康増進クリニック（東京都千代田区九段南 4-8-21 山脇ビル 5 階） 2. 希望クリニック（名古屋市中村区名駅南 1-19-27 オルバースビルディング名古屋 6F） 3. なかむら漢方内科（熊本市中央区新屋敷 3-9-22） 4. 医療法人社団 啓神会 M 再生クリニック（東京都杉並区下高井戸 5-4-10）の 4 院が定期報告期限を迎えるため、実績に基づき継続可否の審議を行う旨説明があった。

各院の再生医療提供実績表に基づき、状況の報告がなされた。

1. 健康増進クリニック 【管理者：水上治／報告書受領日：令和3年1月6日】

症例数（投与数）：NK2 例（9 回）、NKT（MIX）4 例（18 回）、樹状 4 例（15 回）。

今後も継続希望あり。

【質疑】

希望により中止とあるが、具体的にはどういった理由なのか？

→費用面と聞いている。

2. 希望クリニック 【管理者：堀田 由浩／報告書受領日：令和3年1月14日】

症例数（投与数）：NK1 例（5 回）、樹状 5 例（17 回）。

今後も継続希望有。

【質疑】

マーカー、画像共に進行との事だが、もし補足での情報があれば。

→特段無いが、画像での進行情報を追加確認し、記載を行う。

3. なかむら漢方内科 【管理者：中村 雅生／報告書受領日：令和3年1月7日】

症例数（投与数）：NK4 例（16 回）、NKT（MIX）0 例（0 回）、樹状 0 例（0 回）。

1 クール終了（評価対象）1 例

【質疑】

QOL 判断による部分奏功との事だが、QOL の判断基準はどのようなものか？

→基本的には表にある PS 判定表や痛み指標等を基に判定する。可能であればマーカーや画像等、数値として出るものによる判定が望ましいのは間違いないが、stage の進んだ高齢者等の場合、在宅において点滴投与しているケースも多く、一概に検査を行うことは難しい。そのため、医師の客観と併せて患者及びご家族の主観による QOL 判断、ということにならざるを得ないこともある。

4. 医療法人社団 啓神会 M 再生クリニック

【管理者：飯塚 啓介／報告書受領日：令和2年12月7日】

症例数（投与数）：NK2 例（12 回）。 1 クール終了（評価対象）1 例

【質疑】

PET-CT を行ったタイミングを記載したほうが良いのではないかと？

→年2回行う PET-CT ということは、約半年の期間が開いている。免疫療法で当該患者さんは7回の投与（1クール+1~2回）を受けており、通常1クールには4~5カ月かかることを考えると、投与前後での PET-CT 検査実施となっていると考えられる。

第 1 号議案に入る前にあった研修会報告の流れもあり、次回以降の定期報告にあたって各院に提出を求める報告書には、コメント欄への記載内容や記載方法について少しずつ改良させてゆく、という流れにおいて全員同意した。

その他は特に質疑が無く決議に入った。

各院に対する採決を行い、1. 2. 3. 4. の全ての院への現在の提供状況及び今後の提供を、参加委員一同異議なく挙手により承認した。尚、2. については会議終了後、画像に関する記載を付記した報告書の再提出を求めるものとする。

質問者の納得をもって質疑は終了し、委員会発起人 阿部博幸は閉会を宣した。

以上

(16 時 35 分)